

平成30年3月29日

各位

特定非営利活動法人
国際生命科学研究機構
理事長 安川 拓次

「ILSI バイオテクノロジー研究会 ERA 勉強会」のご案内

拝啓 皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

日本ではカルタヘナ法制定から15年が経過し、これまでに170系統以上の遺伝子組換え作物が環境リスク評価（生物多様性影響評価）を経て、一般開放系での利用の承認を受けております。同時に、遺伝子組換え作物のより効果的な評価を行うため、蓄積された知見に基づく評価手法の見直しが行われてきました。今回、わが国の生物多様性影響評価の考え方を振り返ると共に、隔離ほ場試験のデータトランスポートビリティに関する議論を通じ、科学的な環境リスク評価の推進に貢献することを目的として、添付の通り、4月25日に勉強会を開催することとなりましたのでご案内申し上げます。各位におかれましては、万障お繰り合わせの上ご参加いただければ幸いです。

皆様のご参加を心からお待ち申し上げます。（定員100名）

敬具

プログラム

タイトル： 「ILSI Japan 生物多様性影響評価に関する勉強会」

日時： 2018年4月25日 13:00-17:30

場所：フクラシア丸の内オアゾ(東京都千代田区丸の内1-6-5丸の内北口ビルディング)

主催：特定非営利活動法人 国際生命科学研究機構 (ILSI Japan) バイオテクノロジー研究会

プログラム：

- 13:00 開場
- 13:30-13:45 開会の挨拶及び ILSI の紹介
宇津 敦、ILSI Japan 事務局長
- 13:45-14:15 日本における遺伝子組換え作物の生物多様性影響評価の考え方
佐藤 忍、筑波大学生命環境系 教授
- 14:15-14:45 隔離ほ場試験のデータトランスポートビリティーの考え方と現状
大澤 良、筑波大学生命環境系 教授
- 14:45-15:15 ILSI Japan のデータトランスポートビリティーに関する活動の振り返り
① 2016年 ILSI ERA ワークショップの振り返り(日・米・豪間での生物多様性影響評価における評価エンドポイント及び評価項目の比較)
松下 茜、ILSI Japan バイオテクノロジー研究会
- 15:15-15:30 休憩
- 15:30-16:00 ILSI Japan のデータトランスポートビリティーに関する活動の振り返り
② 2016年 ILSI ERA 勉強会の振り返り(雑草の特徴について)
黒川 俊二、農業・食品産業技術総合研究機構 上級研究員
- 16:00-16:30 宿主作物の特性に基づく競合における優位性の評価に関する考察
後藤 秀俊、ILSI Japan バイオテクノロジー研究会
- 16:30-17:30 パネルディスカッション
- 17:45—20:00 懇親会

懇親会費：5000円

(JR東京駅方面より*地上からのアクセス)



東京駅「丸の内北口」改札方面へお進みください。



改札を出て、「大手町方面」へ進み、外へ出ます。



横断歩道の先、右手奥に「OAZO」と表示が出たビルが見えます。



OAZO建物内へ入り、右手側に丸善（本屋さん）を見ながら進みます。



丸善を過ぎると、右手側に「丸の内北口ビル」へ通じる自動ドアがございますので建物内へお進みください。



すぐにエレベーターホールがございますので、【C】のエレベーターをご利用の上、15階（受付）へお進みください。

(地下鉄丸ノ内線東京駅方面より*地下からのアクセス)



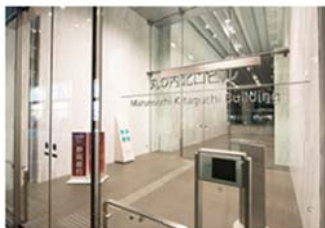
大手町・丸の内北口・八重洲方面、「丸の内オアゾ」へお進みください。



「OAZO」の表示がでた自動ドアに入って下さい。



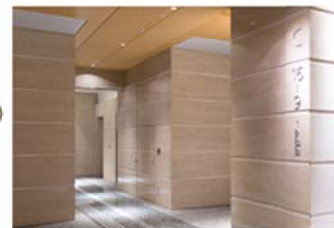
そのまま直進してください。※エスカレーターは利用しません。



神戸屋（リ(ン)屋さん）を通りすぎて少しすると、右側に「丸の内北口ビル」へ通じる自動ドアがございますので建物内へお進みください。



入って左手に曲がり、直進してください。



エレベーターホールがございますので、【C】のエレベーターをご利用の上、15階（受付）へお進みください。